



# CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 赤津 善宣  
幹事 山下 喜一  
SAA 富岡 幸広  
会報小委員 長 鈴木 正人

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目 6 番地の 9  
○例会場 ホテルミドリ 〒 974 - 8261 ホテルミドリ内  
TEL0246 - 62 - 3737

こころの中を見つめよう  
博愛を広げるために

第 2439 回 例会 平成 24 年 1 月 18 日 (水・晴)

2011 ~ 2012 年国際ロータリーのテーマ

ゲスト

R I 第 2530 地区

パストガバナー 山崎 栄 一様

ロータリーソング

—今月はロータリー理解推進月間です—

4 つのテスト  
吉野 文敏 会員



小熊会員以上の方は前の方へどうぞ。



◇スマイルボックス委員会—佐久間小委員長  
・本日は例会卓話にお招きいただきありがとうございます。宜しくお願いします。

山崎栄一パストガバナー

・山崎パストガバナーを歓迎して。  
嵐、清水、矢代、金成、鈴木 (修)、後藤、高瀬、吉野、越田和、富岡、濱沖、渡辺 (勉)、松崎、櫛田、児玉、押田、船橋、斉藤、高木、川中、佐久間、岩元、小松崎、丹野、荒川 (義) 各会員及び渡邊公平ガバナーノミニ、赤津会長、高萩会長エレクト

・東京江戸川ロータリークラブの新年初例会に出席戴きありがとうございました。富岡会員及び赤津会長、高萩会長エレクト、山下幹事  
・出席奨励賞ありがとうございました。

遠藤、鈴木、櫛田、荒川 (清) 小熊、本間各会員

◇親睦活動委員会—荒川義清小委員長  
本日は 1 月の誕生者へ誕生祝い差し上げたいと思います。赤津会長が 1 月 4 日、松崎会員が 1 月 24 日がお誕生日です。前の方へどうぞ。おめでとございます。



◎ゲスト卓話 第 2530 地区

パストガバナー 山崎 栄一様  
皆さん、今日は。本日は例会の卓話にお招き戴き大変ありがたいと思っております。今日は「ロータリー財団の使命と役割及び恒久基金寄付」についてお話をしたいと思います。



## ◆国際ロータリー (R I) の使命

ロータリークラブの世界的連合体である国際ロータリー (R I) の使命は、他者に奉仕し、高い倫理的基準を促進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて、世界理解、親善、平和を推進することである。

## ◆ロータリー財団の役割

国際ロータリーがロータリーの綱領と R I の使命を遵守、遂行し、世界理解、親善、平和を達成しようとする努力を全面的に支援することである。従って、国際ロータリーがロータリー財団は車の両輪にたとえられ、法的に組織は違ってもその目的、使命は一体のものである。正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」と称する。

## ◆ロータリー財団管理委員会の組織

ロータリー財団管理委員会の組織は、会長が R I 理事会の承認を得て任命した各国からの 15 名の委員で構成される。財団は、巨額の基金を保管、運用する組織であることから、尊厳と信頼性を重視し、委員の中に元 R I 会長 4 名を選任することが定められており、委員の互選により委員長、エレクト、副委員長が選任される。2011 ~ 12 年度の委員長には、ウィリアム・ビル・ボイド元 R I 会長、理事として、日本からは小沢一彦前 R I 理事が就く。任期は 4 年。

## ◇使命

ロータリアンが地域レベル・全国レベル、国際レベルで健康状態 (保健) を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにする。

それは具体的には、国際ロータリーとロータリー財団が、ポリオ・プラスプログラムを完遂することでポリオ撲滅の目標を達成し、友好と理解を助長する教育的及び文化プログラムを強調し充実させ、世界のあらゆる地域において人道的ニーズを満たす補助金を支給し、人々のための平和な関係を深めるためにプログラムを拡大することである。

## ◇標語

「世界でよいことをしよう」これは、1917 年 6 月のアトランタ国際大会で当時のロータリー・クラブ国際連合会長アーチ・クランプが、「人類に対する偉大な教育的奉仕」をするために資金を集めたいと提案したときのことば。

## ◇優先事項

- ※プログラムの内容も成果も、未来の夢計画に沿ったものにする。
- ※財団のプログラム、運営を簡素化すること。
- ※地区レベル、クラブレベルにおいて、ロータリー財団へより一層参加し、ロータリー財団を自分たちの財団と自覚すること。
- ※プログラムの目標達成のための十分な資金と、人材を提供すること。
- ※未来の夢計画を支える効果的な方策を開発すること。

## ◆ポリオ・プラスプログラム

- ・国際ロータリーの特別プログラムで 1985 年発足した。
- ・ポリオ (小児麻痺) と共に、麻疹、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして、ポリオ・プラスプログラムと称し、その対策が、ほかのすべてのプログラム以上に優先される。
- 現在は、世界的なポリオ撲滅運動を最重点に掲げ全力で活動している。
- ・ R I 理事会と財団管理委員会は、世界がポリオから解放されたと証明される日が来るまで、R I と R 財団の第一目標であることを確認した

2007 年規定審議会で再確認。

## ◆教育的プログラム

- ・国際親善奨学金
- ・国際問題研究のためのロータリーセンタープログラム
- ・研究グループ交換・G S E
- ・世界平和および紛争解決研究プログラムフェロシップ (世界 6 大学に派遣—クインズランド大 (豪)、ブラッドフォード大 (英)、パリ政治学院 (仏)、ノースカロライナ大 (米)、国際キリスト教大 (日)、サルバドル大 (アルゼンチン))

## ◆人道的補助金プログラム

- ・保健、飢餓追放および人間性尊重 (3 H) 補助金
- ・地区補助金、未来の夢計画に沿い
- ・マッチング・グラント
- ・ボランティア奉仕

## ◆ロータリー財団への寄付

・年次寄付 ポール・ハリスフェロー

「毎年あなたも 100 ドルを」  
財団プログラムを継続させるための燃料の役割を果たす。

「毎日庭に水を撒き、草花に水分を供給するようなもの」とたとえられている。年次寄付は、今日の財団プログラムを支えるもの。\* 1,000 ドルに達した会員は、ポール・ハリスフェローに認証され、1,000 ドルを寄付するごとにマルチプルの回数を増やしていく。

## ・恒久基金寄付 ベネファクター

※恒久基金は、「いつでも水が撒けるよう十分な水を用意してある貯水池」のようなもの。

※金額は問わず「恒久基金」の名称で、いくらからでも寄付することができる。

※寄付の元金には手をつけず、その利息だけを投資等で運用し、収益金はすべて、ロータリー財団のプログラムへ活用する。

※ 1,000 ドルに達した会員は、ベネファクター (後援者) として、ピンと認証状が贈られ、1,000 ドルを寄付するごとにマルチプルの回数を増やして行く。

※恒久基金は、あすのプログラムを安定したものにすもの。

※現在基金の累計額は、現金 2 億 2,000 万ドル、予測額、(誓約や遺贈など) は 3 億 8,000 万ドルになっている。目標は、10 億ドルにすることが夢です。

## ・ポリオ撲滅のための基金寄付

## ・恒久基金日本委員会からのお願い

恒久基金は、財団プログラムが常に最小限度実施されるよう保証するものであり、将来、新しいプログラムを開始するにあたり、現行のプログラムを拡大することができるよう、財団の援助の不足を定期的に確実に補うように意図されたものであると言える。

年次寄付と恒久基金寄付は同時に重要であり、両方が補い合って推進をはかっています。本日ご出席の次期クラブ会長の皆様には、恒久基金の理解に一層ご尽力をお願い申し上げます。

1. ガバナー、地区財団委員会の年度目標である年次寄付の推進と共に、クラブから 1 名以上のベネファクター (1,000 ドル寄付の後援者) ご協力を是非お願いする。
2. 財団寄付の累計がすでに、7,000 ドル、8,000 ドル、9,000 ドルを超え、大口寄付者 (メジャードナー) 10,000 ドルに近づいておられる高額の方には、達成までの寄付を恒久基金と指定下され、これ迄の年次寄付と恒久基金の合算で大口寄付の認証をお受け戴くようお願いする。

出席状況

正会員数 55 名  
本日の出席率 79.25%

本日出席会員数 42 名  
修正出席率 86.79%